

(一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会 議事録

2017.08.01 理事会 (緊急)

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

平成 29 年 8 月 1 日 (火) 午後 7 時～10 時

〈場所〉

(一社) 山梨県サッカー協会 2階 会議室

〈出席者〉

◇石原幸周委員長 (甲府) ◇小林芳昭副委員長 (峡中) ◆福田和久副委員長 (峡北)
 ◇風間斉副委員長監事 (峡東) ◆志村祐理事・会計 (甲府) ◇藤田徹理事会計補佐 (郡南)
 ◇三澤厚司理事 (郡東) ◆末木一幸理事 (峡東) ◇望月一徳理事食育 (峡中)
 ◆内田淳理事 (峡中) ◇村松貴志理事 (峡北) ◇西島秀和理事 (郡東)
 ◆三浦善明理事 (郡南) ◇三科健二郎事業運営部長 ◇溝呂木勉審判部長
 ◇神取一弘技術委員長 ◆横森潔キッズ部長 ◇野口フットサル部長
 ◇鈴木和幸理事広報部長 (甲府)

〈議事〉

司会：石原委員長

付議事項

1. 委員長挨拶
2. 協議事項
 - (1) 暴力・暴言の通報について (別紙)
 - (2) 全少山梨県予選について (別紙)
 - (3) ニッサンサッカー教室について (別紙)
 - (4) キッズプログラムの見直しについて
 - (5) 4種女子の現状及び普及について
 - (6) 今後の予定について
 - (7) その他

議事経過

1. 委員長挨拶

・緊急の理事会で集まっていた。前回できなかった内容も合わせて協議したい。宜しく願います。到着していない理事がいることから協議順については変更をする。

2. 協議事項

(1) 暴力・暴言の通報について (別紙)

□7月に県協会に通報があった暴力・暴言に関する通報に対し今後の対応を協議した。

■このことに関しては、4種理事会での調査及び事実確認を行う必要があることから、通報者に対する聞き取り及び当該チーム指導者に対する聴取を行うこととする。期日については予め理事会より提示し調整をする。事実確認を行うと同時に、4種の取り組

みを理解していただき行為に対する気づきを促すことも必要となる。その対応と結果についてあらためて県協会に報告をおこなう。

(2) 全少山梨県予選について (別紙)

- ・「平成 29 年度第 41 回全日本少年サッカー大会」山梨県大会
- ・平成 29 年 11 月 5 日(日)、12 日(日)、19 日(日)、26 日(日)、予備日 18 日(土)
- ・会場確保計画 運営担当は全地区
 - 11 月 5 日(日)1 日目トーナメント 8 会場
甲府 2、峡中 1、峡東 1、郡東 1、郡南 2
 - 12 日(日)2 日目トーナメント 4 会場 (+1 日目荒天順延予備 4 会場)
峡北 1、峡中 1、郡東 1、郡南 1
 - ※1 日目荒天による順延の場合は 8 会場必要となり、その時点で+4 会場を確保する
 - 18 日(土)予備日 4 会場 (未定)
※順延の場合は 4 会場必要となり、その時点で確保する。
 - 19 日(日)準々決勝・準決勝 小瀬球技場 2 面
 - 26 日(日)最終日 押原天然芝 G
3 位決定戦 10 時～ 決勝戦 11:30～ 閉会式 12:30
- ・参加チームと複数エントリーは 8 月 15 日までに事業運営部長あて
- ・大会規則②選手の登録について確認
 - 「選手の登録は 16 名以内」の選手とは、初日に提出されたメンバー表に記載された選手であり、大会初日から最終日までその 16 名で試合を行うという意味である。ただし、初日 16 名に満たないチームは大会中選手の追加が可能です。また、けが等で欠場する選手の補充は出来ません。
 - 複数エントリー以外はエントリー票の提出を求めていることから、通常のチームは初日提出のメンバー表をエントリー表と同様に扱うこととなります。会場責任者のサイン記入欄をメンバー表に設けることでエントリー票として使用する。
 - ベンチ入り人数は制限していないが、交代 8 名とは色の違うピブスの着用を求める。
- ・要項記載内容について
 - 「選手の登録—「大会登録人数」は 16 名以内、交代は 8 名以内とする。
 - 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後再び参加することは出来ない。

(3) ニッサンサッカー教室について (別紙)

- ・「第 33 回ニッサングリーンカップサッカー教室」
- ・主催：山梨日日新聞社、山梨放送
- ・主管：山梨県サッカー協会、山梨県サッカー協会 4 種委員会
- ・平成 29 年 9 月 24 日(日) 9:00 開講式、11:45 閉校
- ・韮崎中央公園 (韮崎市藤井町北下条 2531)
- ・荒天の場合は韮崎市営総合運動場体育館
- ・参加人数は 300 名予定(県内 4 種登録サッカーチーム)
- ・ヴァンフォーレ甲府監督・選手が、県内のサッカークラブに所属する小学生を指導。

- ・①リフティング ②ヘディング ③ドリブル ④パス ⑤ゴールキーパー

(4) キッズプログラムの見直しについて

- ・「U-10 地域リーグ」及び「U-10 交流フェスティバル」は今年度で終了
- ・U-10 年代の4種事業としての今後について検討してほしい。

※今後も継続審議とする。

(5) 4種女子の現状及び普及について

- ・4種チーム活動者数女子が227名いることが分かった。また、チーム内での女子選手が増加したことから、複数エントリー女子チームでリーグに参加する等取り組みをしたチームがある。
- ・現在女子2チームでのリーグは出来ないが、活動する女子を増やしていくことで新しい展開をしていくことが出来るのではないかと。まずはチームの中に女子選手を積極的に増やしていくこと。男女あるいは女子のみに関わらず、女子の試合環境の確保も必要と考える。
- ・ジュニア年代、ジュニアユース年代、ユース年代と女子が活動できる状況を整備していくことも考えている。

※今後も継続審議とする。

(6) 今後の予定について

- ①第3回理事会 9月1日(金) 午後7時～ 押原会議室
- ②平成29年度評議員会

(7) その他

- ①新スポーツ拠点：農村公園(旧豊富村)人工芝1面・夜間照明・事務棟
 - ・YFA、中央市、えべしによる協働によりスポーツの拠点と農業の拠点をとって事業の推進を検討している。
 - ・農業・スポーツを通じたコミュニティづくり、シルクの里一帯を拠点とした事業による「スポーツ文化」またコラボによる「まちづくり、生きがいくくり、人づくり、夢づくりの」の創出などがビジョン。

以上

議事録作成 平成29年9月1日
広報部 鈴木和幸